

バイオテクノロジーで何ができる？～農林水産分野の研究成果～

農林水産技術会議事務局研究企画課技術安全室

開催日: 令和2年11月2日(月)～11月6日(金)(11月3日祝日閉館)＜4日間＞開催

来場者: 255人

内容: 様々な技術を用いた農林水産分野の研究成果について、パネルや標本の展示等を行いました。よく知られているものから一般にはあまり知られていないものまで、様々な農林水産物の研究・開発を紹介することで、農林水産分野の研究成果に対する理解増進を図りました。



果実が小さいなどの欠点を改良する、バイオテクノロジーを利用したアセロラ新品質開発に向けた研究成果や、アセロラの実物を展示



ゲノム編集技術を利用して開発した無花粉スギの研究成果や、スギ雄花標本、スギ花粉の実物を展示



ゲノム情報を利用した育種によるウナギの完全養殖に資する研究成果や、ウナギの仔稚魚の生体を展示



夏の酷暑においても品質低下(白濁化)が起こりにくい水稻新品種の実物や解説パネルを展示



「品種改良技術」について、わかりやすく解説した動画を放映



来訪者の質問に親切・丁寧に回答する展示担当者